

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年 12月 10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2274201579
法人名	株式会社 日本ケアクオリティ
事業所名	グループホームともえ
所在地 (電話番号)	静岡市葵区上土 1-17-95 ( 054-267-2701 )
評価機関名	セリオコーポレーション有限会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成21年9月17日

## 【情報提供票より】(平成21年08月28日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	12人/ 非常勤 2人/ 常勤換算 14人

### (2) 建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄筋 造り 2階建ての1階～2階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000円	その他の経費(月額)	18,000円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 65,000円	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

### (4) 利用者の概要(平成21年08月28日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	75 歳	最高	88 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	こじまクリニック ・ 山田 歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静岡市葵区の東部に位置する「ともえ」は、東に巴川が流れる清閑な住宅街で、隣接に保育園のあるグループホームである。利用者たちはホームの前庭で笑い声をたてながら遊びまわる幼児の明るい姿を見聞きしながら、ゆったり過ごしていた。夏にはスイカ割りや流しそうめんを一緒に、9月には敬老の日に訪ねてくれるなど、隣接の利点が強く感じられた。また、保育園を介して地域住民との交流も頻繁に行なわれている。そして、「あなたがあなたらしく」の理念のもと、ともに笑顔で支えあい暮らそうという職員の熱意も感じられた。運営推進会議の着実な開催が望まれる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回指摘された「評価に意義の理解と活用」については、見事にクリアーされていた。「運営推進会議」と「同業者との交流」については、緒についたところである。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己・外部評価の意義を理解し、今回の自己評価票作成においては職員全員で取り組み、その意見をユニットリーダーがまとめ、1F・2Fユニットの特徴・違いを明確にし、改善に取り組んでいる。リーダーからは自分の仕事の重要性を反省し、考えるようになり、楽しさが増したと言うコメントも聞かれた。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	行政や近隣との良好な関係を活用し、市・包括支援センター・自治会長・民生委員等にも参加をお願いし、定期的に開催することが望まれる。7月に行われた保育園の夏祭りの機会を、久しぶりの運営推進会議として開催された。会議には家族・介護相談員・関係業者等が参加し、介護サービスの実施状況の報告や意見交換が行われた。2ヶ月に1回の定期的な開催はこれからである。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時に声掛けし、意見や苦情を聞くようにしている。また、毎月「ともえ通信」が発行されており、ホームの状況写真と共に今月のお便りが、管理者・責任者・担当者の署名捺印されて報告されている。中でも毎月の血圧・体温・体重の報告は珍しいケースである。苦情担当とは別に「苦情委員会」が設けられており、家族等の意見を運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	隣接する保育園が地域との交流促進の大きな一助になっている。自治会に加入し、回覧板や保育園・職員からの情報で、塩原公園祭り・神社の輪ぐりさん・廃品回収など、利用者と共に参加している。最近の衆議院選挙にも3名の利用者が投票に行き、地域の一員としての役割を果たしている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	保育園が隣接する特徴を活かし、「・・・子供たちの笑い声の中で あなたがあなたらしく・・・」というホーム独自の理念を正在している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は1F玄関や2Fロビーに掲げられ、毎月のユニット会議の中で活発に話し合い、日々理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧板や保育園・職員からの情報で、塩原公園祭り・神社の輪くぐりさん・廃品回収など、利用者と共に参加している。最近の衆議院選挙にも3名の利用者が投票に行き、地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義を理解し、今回の自己評価票作成においては職員全員で取り組み、1F・2Fユニットの特徴・違いを明確にし、改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月に行われた保育園の夏祭りの機会を、久しぶりの運営推進会議として開催された。会議には家族・介護相談員・関係業者等が参加し、介護サービスの実施状況の報告や意見交換が行われた。2ヶ月に1回の定期的な開催はこれからである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護の利用者も居り、日常の連絡・報告・相談は良く行われている。介護相談員も受け入れており、利用者・職員の意見を吸い上げ、サービスの質向上に役立っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「ともえ通信」が発行されており、ホームの状況写真と共に今月のお便りが、管理者・責任者・担当者の署名捺印で報告されている。中でも毎月の血圧・体温・体重の報告は珍しいケースである。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情担当とは別に「苦情委員会」が設けられており、家族等の意見を運営に反映させている。利用者との会話を多く・掃除の徹底・介護相談員の意見等の声を真剣に受け止めて話し合い、改善に結び付けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の安定が第一義と捉え、最大限の努力をしている。退職等の異動があった場合は利用者のレベルに合わせ、ダメージを最小限に抑えるよう説明を工夫している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の新人研修体制は整っており、仕事を通じての研修(OJT)も行われている。しかし、外部研修については掲示して声掛け程度であり、実質的な参加は少ないようである。	○	内部で出来る研修には自ずから限界がある。職員の経験・資質等に応じてレベル分析を行い、最低限この研修だけではという年間研修計画の策定が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の交流は行われているが、同業他社との交流会・意見交換会等への参加は見られなかった。	○	ホームの飛躍のために目を外に向けることも大切である。介護施設・グループホーム・ケアマネージャー連絡会等に交代にでも参加し、同業者との交流や勉強会に参加するよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に面接したり、見学等により雰囲気に慣れてもらうと共に、家族とも相談し、一人ひとりに相応しい居室づくりを工夫し、徐々に馴染みながらサービスが開始できるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩・経験者として敬い、本人の意志を尊重しながら、できることはやり遂げるよう支援している。調理の手伝いの折やテレビを見ての会話の中で、職員の知らなかった方法や時代背景を学んだりしながら、支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ぼそぼそ話しても利用者の言うことは聞き漏らさない、日常の小さな変化でも見逃さないよう、常時意向の把握に努めている。いろんな職員の話を聞いて時間をかけて検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	モニタリングで問題があれば、カンファレンスを開催して職員全体で話し合い、本人・家族・医師の意見も取り込んで、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各ユニット毎、月1～2回は会議を開催し、職員全員で話し合い・変化に応じて介護計画の見直しを行なっている。3ヶ月毎には見直ししているが、それ以前に変化が生じた場合は、各職員に現状・対処法を文書で記入してもらい、職員・本人・家族とも話し合いの上、対処している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接に大家が経営する保育園があり、日々、幼児の声や遊ぶ姿を楽しめる上に、催事(スイカ割)に呼んでもらったり、来てもらったり(敬老会)幸せを満喫している。また、買い物、受診、外食などに同伴したりしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望により、従来のかかりつけ医の利用は4人程度おり、1～2ヶ月に1度位受診している。その他は基本的にはホームの協力医が定期的に診察し(2週間に1度)、体調の把握を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に終末期・看取りの話しを行い、本人・家族とも相談して方針を決めている。方針・マニュアルも作成済みで、医師や訪問看護師、家族とも相談を繰り返し、同意書も取り付け職員全員で話し合いも行い対処している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の目前では諸記録の記入はしない、また人目に触れないよう保管する、その人に合った言葉で会話する等、プライバシーの確保・個人の尊厳を大切にしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念にある通り「あなたがあなたらしく」ということで、一人ひとりの出来ること、得意技でお手伝いをしていく。モヤシの根取り、米とぎ、盛り付け、配膳などのほか、習字・写経・詰め将棋・オセロ・など本人のしたいことを楽しんでもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話や家族の話から個々の趣向を献立作りの参考にしたり、野菜の皮むき、食器洗い拭きなどにも参加して、食事を楽しんでもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	通常9時～3時半を入浴時間として、本人の意思を尊重しながら、週2回以上の入浴を目標としている、一人の入浴でも心配ない利用者は夕から夜でも入浴できるようにしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸、歌、読書、DVD鑑賞、写経など一人ひとりに好きなことを楽しんでもらっている。隣接の保育園と合同でスイカ割り、流しソーメンや各季節の催しとして花見、七夕、クリスマス会等も楽しんでもらっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに大木の茂った神社や塩原公園などがあり、散歩、買い物への同行、ドライブなど、なるべく外出できるように支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は開放している。鍵をかける事で生ずるデメリットを職員全員でわかまえている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は消防署の指導のもとに年2回、内部だけの訓練も年2回定期的に開催し、水・食料の備蓄もおこなっている。地区の防災訓練にも参加しているが、地域の人々の参加を得られるところまでには至っていない。	○	運営推進会議を定期的で開催して、その中で、訓練への参加や災害時の協力をお願いする努力を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量は経過観察チェック表に記録し、毎25日に体重測定を行い(軽体重者は毎週)各人の状態を把握し、対処している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共通の空間は利用者に相応しく設計・配置されている。居間・玄関・廊下等にはディスプレイ係が毎月、季節感のあるものを利用者と一緒に作成して飾りつけ、皆で居心地良く過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋には利用者の馴染みの品々が持ち込まれ、植木鉢やぬいぐるみを置いている利用者もいる。壁面には手作りの品や思い出の写真、家族の写真などで飾られ、自分の城としていた。		